

地方創生で活気のある町に 議会だより

かつうら

2024.12.30

100th

MEMORIAL NUMBER

報恩謝

2. 100号発刊にあたって

3. 100号記念 特別企画

徹底調査 100人に聞きました！わたしと勝浦町

4. Pick Up! 令和5年度 決算報告

6. マラソン議会 (9月～11月)

8. 《議長コラム》勝浦想生【拡大版】

トーク グッズと
遠くで聞いた Good くるハナシ

【特別プレゼント企画！】

10. 一般質問

議員OB き

20. 先達に訊く～100号を迎えて～

22. 視察報告 / 人事人選 / 研修報告

25. 新年を迎えるにあたって《議長挨拶》

26. 町民の声

27. 星谷橋架け替え特別委員会 / 編集後記

28. 一地域のホシ ガンバル人ー かつうらガンバロウズ

おかもと しゅん
『岡本 駿』

表紙探訪

広島カープドラフト3位！羽ばたけ勝浦球児』

100号
記念
特別企画

徹底調査

100人に聞きました！

わたしと勝浦町

「議会だよりかつうら」第100号特別企画として、「徹底調査 100人に聞きました！わたしと勝浦町」をお届けします。この企画では、勝浦町出身、在住、勤務など、勝浦町にゆかりのある100の方々に、町への思いを一言ずつ綴っていただきました。今号では、本紙全体を通して、その声を各ページに散りばめ、町の魅力や人々の思いが感じられる内容になっています。ご協力いただいたみなさまに心より感謝申し上げますとともに、読者のみなさまに楽しんでご覧いただければ幸いです。



増井 章太（中角）10代

僕はこの勝浦が好きですが、自然を生かされているものが少ないと思っているので、そういうものが増えるといいなと思っています。

清水 一人（生名）50代

学生時代に勝浦町を離れ、再び勝浦町に住んで30年ほどになります。人口減少や高齢化が進んでいますが、町おこしグループがいろんな地域にあるなど活気があると思います。それを受け継いでいくのが自分の務めだと思っています。



竹村 美知子（石原）60代

勝浦で生まれ育ち、町内に嫁ぎました。勝浦といえばみかんですが、私は5年前から少しの田で米を作っています。毎年、猪の被害を受けてやる気が失せるばかりです。最近は田畑の放棄地が目立ちますが、もっと安心して農業がしたいです。



木原 努（棚野）40代

勝浦町の温かい人も豊かな自然も大好きです。子育ては絶対に勝浦町と決めていました。昔より子どもは減っているけど、ずっと住み続けたいです。子ども達もそう思ってくれるといいな。



寺井 仁志（立川）40代

大学卒業後、自営林業をするためUターン。SDGsに配慮した自伐型林業を実践しています。将来的な町の発展、人口増が見込めない中、緩やかな人口減少とそれに応じた社会システムの構築を急いでほしいです。



山川 寛人（星谷）40代

勝浦町を「徳島のオアシス」のような町にしていくには、「笑顔」と「ワクワク感」が鍵になると考えています。また行きたいと思ってもらえる勝浦にするため、微力ですがその一翼を担っていききたいです。みんなで勝浦を盛り上げ、笑顔があふれる最高の町をつくっていきましょう。



寒山 有香（棚野）30代

20歳で勝浦にきて13年。最初は不安でしたが、はぐくみクラブやこあら組など、交流の場があったので友達も増えました。子どもがのびのび過ごせ、近所の方が気にかけてくれ、楽しく子育てができる勝浦が大好きです。



中西 桂子（石原）80代

終戦から2年後小学校に入学。何もかも不足する中でも学校は楽しくみんな元気であった。その思い出は褪せることがない。豊かな自然と人情あふれるこのふる里が、次世代に受け継がれ何時までも続くことを願うばかりです。



100号発刊にあたって



1997年11月に創刊以来、多くの先輩議員や職員のみなさまの苦勞のおかげで、100号記念誌を発行できますこと、心より感謝申し上げます。

直近は、5年連続全国町村議会議長会の広報コンクールで表彰され、まことに嬉しいかぎりです。

また、議会もタブレットが導入され、広報編集にもパソコンをフル活用できており、過去の手書きでの編集時とは比べものにならないほど、便利になったと感じています。

一人でも多くの町民の方に手に取って読んでもらえるように創意工夫し、頑張っています。

この広報活動を通じ、もっと多くの町民の方と接する機会を増やして議員活動、議会活動に反映していけるよう努めて参ります。

そして、みんなが笑顔になり、住みやすい勝浦町となるように「議会だよりかつうら」を発行して参ります。

今後ともご指導、ご協力、よろしくお願いいたします。

議会広報常任委員会委員長 花房 勝一



天羽 翔愛（沼江）10代

勝浦が好き。人が少ない分生きやすいと思う。いっぱい遊べる公園ができたらいいな。空き家を潰して畑やお米を作ったりして、仕事を増やすべき。中学校や高校へ行ってもバスケットボールを続けたいと思う。

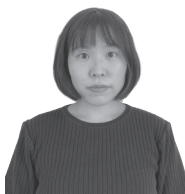
中西 未咲（小松島市・中角出身）20代

小さい頃からみかん畑を駆け回り自然に囲まれて育ってきました。休みの日に帰ると、どこか懐かしいと感じる草木の匂い、空を見上げると満点の星を見ることができるなど、自然にあふれたこの町は私にとって癒しの町です。



細谷 朋未（横瀬）30代

高校教諭である私が出会った勝浦町出身の生徒は、地域で温かく見守られた結果か、素直でのびのびしているように思う。驚くほど少子化が進んでいるが、これからの世界を担う子どもたちのための勝浦町でありたい。



三好 君代（久国）70代

母子福祉会に入会して43年。多くの仲間と苦楽を共有し、互いに励まし合い今に至っています。同会を通じて他団体の方達とも交流が持てました。地域の輪を広げ助け合いのできる町にしていきたいです。



信政 実咲（久国）10代

ミニバスチーム「Stand up!」でプレイしています。心をつなぐプレーをするのが、バスケットのいいところで、もっとたくさんの人に魅力を知ってほしい。スポーツを盛り上げるために、町にサポートしてほしいです。

大久保 尚勇（星谷）50代

自然がごっつい豊かな勝浦町。個性豊かな人が多く楽しい町。他市町村より充実している子育て環境。唯一の課題は交通弱者のケアが行き届いていないこと。この点をクリアできればますます住みやすく楽しい町になると期待しています。



農業

町単独農業振興事業補助金

1,130 万円



アシストスーツ

——スマート農業導入支援事業で対象となる、照明をLEDに変える、アシストスーツ購入、ローンの免許取得、気候データのモニタリング等の利用者が少ないのではないかと。また、ドローン消毒の委託への補助制度を作るべきではないか。高齢者では、操縦が難しい。消毒、肥料散布作業がドローンで行えるようになると、みかん作りを高齢になっても続けることができる。

農振課長 スマート農業導入支援事業は、新事業であり、今後周知をしていき利用を高めていきたい。ドローンの委託については、中山間代表者会議を通じてドローン利用のアンケートを実施した。現在集計分析中であり、対応していきたい。

鳥獣対策事業

1,050 万円



猿の大型捕獲檻

——捕獲実績が多く町費、県費でまかなえず猟友会の負担が発生している。できるだけ多くの有害駆除を行ってもらいたいが、どのように考えるか。

農振課長 有害鳥獣の駆除を含め国の事業の電気柵、大型捕獲檻設置や町単で鳥獣防護柵整備事業等を活用し継続していく必要がある。財源はなるべく国費の充当ができるように要望していきたい。

阿波かつうらブランド化事業

1,681 万円

企交課長 勝浦ならではのブランドづくりを進め、町の魅力発信をおこなう事業。事業者の意識向上と商品のPRを連携したことで販売効果も大きく、勝浦町の魅力発信につながっている。また、町を訪れてもらうためのイベントの開催や滞在時間を長くするための仕掛けにより、集客、商品の売り上げに効果があった。

ふるさと納税

2,488 万円

企交課長 恐竜発掘体験は、まとまった人数で実施するので、個人がバラバラと申し込みするふるさと納税には不向きなため導入が難しい。

産業振興

地域活性化センター指定管理料

374 万円

勝浦町地域活性化協会補助金

1,243 万円

企交課長 地域活性化協会補助金はスタッフ3人のうち2人の人件費と事業費。指定管理料は、残り1人の人件費と施設の管理費や事務費を計上している。

——活性化協会の加入団体はいくつあるか。どういった活動をしているか、その実績は。

企交課長 個人会員10人、団体会員18団体で観光交流事業、移住・定住事業、まちづくり支援事業などを行っている。

まちづくり
防災

——災害時にNTTドコモの基地局が使えなくなる通信できなくなる。以前提案した衛星通信などの備えは検討しているのか。

総務課長 衛星通信は有効な通信手段と考えており、費用対効果を含めて検討したい。

①ハザードトーク

災害時に携帯電話や固定電話が利用できない状況でも優先的に通話・通信できる端末

災害対策 備品購入

108 万円



災害に強いハザードトーク

——ハザードトーク①5台購入しているが、月額使用料はいくらか。

総務課長 5台で月額2万5510円（税別）。

災害時要配慮者支援事業

35 万円

——避難支援者等関係者への情報提供、これからの対策は。

福祉課長 個別避難計画を関係者に提供した地区もあるが、作成できていない所もある。提供の準備は整えているので、タイミングをみて提供していきたい。

地域公共交通体制整備事業

96 万円

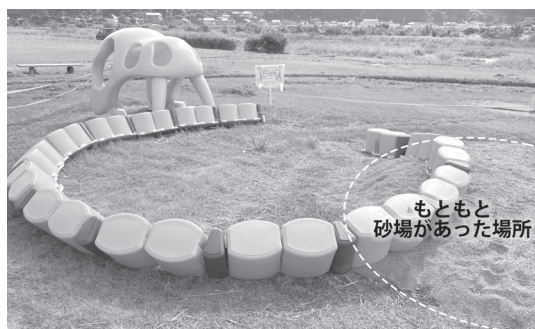
——実証実験中の利用者数が17名と少ない。使い勝手が悪いのか周知不足か。6か月間での評価分析の結果は。

総務課長 10月から始めた事業でホームページなどでの周知が足りなかった。全年齢対象であるが、利用者は75歳以上で、病院や買い物利用が多かった。今年度アンケート調査をおこなうことにしている。

教育

星谷運動公園リニューアル事業

933 万円



流された砂場

——備品購入費、遊具撤去及び設置の価格は。

教委局長 8物件の設置、1物件の修繕、2物件の撤去で932万6900円。

——破損した砂場の囲いを撤去するの。

教委局長 現段階では修繕して早急に使えるようにしたい。

令和5年度の一般会計
決算歳出総額39億9000万円

9月10日、11日、12日、19日にわたり、一般会計・特別会計の決算を審査しました。

審査は会計ごと、また担当課ごとに行われ、適正に支出されているか、不用額は妥当であるか、事業は計画通り実施され成果を上げているかなどについて、細かく質疑がなされました。

マラソン

9月・10月・11月

議会



ターのピアノでは音域が足りず、グランドピアノを借りてくるといった説明だったが、鍵盤が多いピアノを借りてくるということか。

教委局長 コーディネーターとの打ち合せの際、改善センターのピアノでは、コンサートで使用するには音域が足りないと言われた。

——各学校のピアノを今回のイベントに合わせて調律するが、学校のピアノの調律はどの程度のサイクルで実施されているのか。

教委局長 年に1回、年度末辺りに実施されている。今回の事業で調律するので、場合によっ



西村さんと一緒に

勝浦町国民健康保険条例の一部を改正する条例について

——町のホームページには「令和6年12月2日以降従来の被保健証は廃止されマイナ保健証を基本とする仕組みに移行することとなりました。（中略）来年の有効期限までは使える」とあるが、不十分ではないか。「マイナ保険証を持っていなくても資格確認証が保険証と同じように使える」と周知するべきではないか。

税務課長 11月の町広報で周知

では調律代の削減ができるのではと考えている。

——コンサート用のレンタルピアノ代に調律代が含まれていると思うが、別途調律費用が計上されている。コンサート前に調律するのであれば、納入時に調律が不要になるのではないか。レンタル代から調律代金の値引き交渉はできているか。

教委局長 レンタルピアノ搬入後に調律を行いリハーサルをおこなう。その後、再度調律をして調整をおこなうため、2回の調律費用が必要となる。

10月議会

南海トラフ巨大地震等対策事業

1310万円

——町民体育館に設置する備蓄倉庫（253万円）に購入するものをすべて収めるのか。

総務課長 町民体育館で使用する保護テントマット50セット、毛布380枚、段ボールベッド40セットを収納予定だ。

——各避難所への資機材の購入数の根拠は。

一般会計予算 補正含め総額 45 億 3501 万円		
補正予算（9月・10月・11月）	主な内容	（万円）
公共土木施設災害復旧事業（9月・11月補正）		14,349
南海トラフ巨大地震等対策事業		1,310
衆議院議員選挙費委託金		569
ガバメントクラウドネットワーク運用管理補助領域構築事業		479
木造住宅耐震事業		250
学校給食費助成事業費交付金返還事業		245
勝浦町介護施設等整備事業		240
生比奈小学校校舎耐力度調査		82
物価高騰対応重点支援（非課税世帯7万円）給付金返還事業		66
低所得者保険料軽減負担金過年度分精算事業		58
福祉避難所運営体制強化事業		57
公共ホール音楽活性化事業		47
砂場修繕事業		24
予備費の補填		12,030

介護保険特別会計補正
補正含め総額 10 億 3145 万円

補正予算（9月）	主な内容	（万円）
国庫支出金等過年度分返還事業		5,933
一般会計繰入金過年度分返還事業		262

する。ホームページ、勝浦病院、老人会等でも周知していく。

木造住宅耐震事業

地震発生時の被害を軽減するために住宅の耐震化（減災化）を推進する

250万円

——県の補助金が増えるが、変更の申請を受け付けるのか。また、今年度中に耐震化の希望があった場合はどうなるのか。

建設課長 現在申請を5件受け付けて事業が始まっている。議決後、変更手続きをして補助金

総務課長 各避難所②の広さを測って設置できる最大数を算定している。それ以外の避難所分については要望数と人口で算定している。

事業内容

● 避難所運営マニュアルの改定作業

● 防災訓練や防災講座等で使用するパソコン購入

● 避難所案内看板購入

● 避難所に常備する備品を購入

▼ 保護テントマット 120セット 291万円

▼ 毛布 695枚 459万円

▼ 段ボールベッド 105セット 208万円

● 町民体育館に備蓄倉庫1基を設置

——避難所運営マニュアルは作成されていたのか。

総務課長 前任の防災監が作成していた未完成のマニュアルがある。途中であったため、一般には公表できていない。今回の補助の要項は、運営マニュアルの見直しや訓練を実施することが、交付の条件となっている。

星谷運動公園の砂場の修繕をおこなう

24万円

——9月議会で指摘したが1ヶ月以上経っている。その間になにか対策したか。

教委局長 対策はできてない。

——対策をした復旧をするのか。囲いを撤去の考えはないのか。

教委局長 対策については業者と協議し、対応していきたい。撤去の考えはない。

を増額していく。今年度は予算枠が埋まっているため、相談があった場合には来年度以降の対応となる。

公共土木施設災害復旧事業

坂本下生実線、棚野立川線、生名谷川、灰焼谷川を実施

1億2806万円

——大きな雨が降ったら川を塞いでしまいうるような生名の災害現場を早急に工事してほしい。

建設課長 大雨時に土砂が

流れ出さないように早期に復旧工事にかかるように準備していく。しかし、みかん園の中を仮設道路を通さなければ現場に入れないため収穫終了後でなければ取り掛かれない。

公共ホール音楽活性化事業

子ども達を含めた町民に音楽のすばらしさを知ってもらう

47万円

——音楽活性化事業で改善セン



「「おやきを好きじゃない人にも食べてもらいたい！」と思っていたが、1年間が過ぎ「おやき」の枠から外れすぎ、どの層にも刺さらないモノになってしまった。もう一度郷土料理としての「おやき」を尊重し、地元の方、「おやき」好きの方にも認められるものを作りたいと思った。小手先の話題づくりではなく、本当に刺さるものを作らないとファンは付かないと感じた。

——SNSでの発信を継続することで、今ではフォロワーが全国各地から「大西堂」に来店している。地方の可能性を強く感じる取

り組みだが、生まれ故郷である勝浦町の現状について、どのように感じているか。

大西 やはり知名度が低いと…。県外からでは圧倒的に上勝の方が有名。勝浦に移住することのメリットはあるのか？一度県外に出た人が、勝浦に戻りたいと思えるかどうかギモンに感じます。

——「勝浦町」の課題解決に提言を。

大西 自分も「何か新しいモノを」と思っていてやってきたが、新しいモノを生み出すことに「挑戦」するのは一見評価されがちですが、実は一番簡単な選択と思う。勝浦町にはすでに魅力的な「モノ、ヒト、コト」は充分にある中で、大事なことは今ある資源や魅力の再発掘。既存のコンテンツのブラッシュアップ。あとはそれをどう発信していくかな。

——具体的なアイデアなどはあるか。

大西 若い世代が楽しめるコンテンツを企画することで、「勝浦町」のワクワク感を創出する。あとはそれをどう発信していくか。町の公式SNSなどでは正直、堅くて若い人は見ない。若者に刺さ



仲良し夫婦

大西祐次郎（49）
松本市在住 横瀬出身

長野県松本市を中心に地域の魅力創造を手掛ける「株式会社次大」を経営。さまざまな事業の傍ら、YouTubeでメインチャンネル「大西祐次郎」と「もち次郎の挑戦〜これぞ松本みやげ」を運営している。※私（松田）とは保育園から高校までずっと一緒に、少年野球チーム「勝浦タイガース」では共に汗を流した同級生です。

勝浦町のみなさんに 大西堂からプレゼント企画

**「大西堂 選りすぐりセット」
プレゼント！**

議会だより100号発刊記念プレゼント企画として、「おやきもち」と「生 然そば」のセットを3名様にプレゼントします。

応募締切
2025年（令和7年）1月14日

住所、氏名、電話番号、メールアドレス、議会だよりをお読みになった感想、議会へのご意見などをご記入の上、下記URLの応募フォームより、お申し込みください！



応募フォーム
<https://forms.gle/G1XqaNDBMvmAKduS9>
当選発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。



トーク 遠くで聞いた グッと Good くるハナシ

遠方にいる勝浦町にゆかりのある人物を訪ねる企画
「遠く（トーク）で聞いた Good（グッと）くるハナシ」
勝浦町を飛び出したからこそ見える世界
外から見た勝浦町について、突撃取材しました。



YouTube チャンネル「大西祐次郎チャンネル」

——「おやきもち」開発のきっかけは。

大西 松本市には「これ！」「いったおみやげ物（銘菓、名物）」がないと感じていた。たとえば山梨の信玄餅、三重の赤福、広島のもみじ饅頭のような感じで、松本を代表するようなお土産品を作りたい！と。

——メニュー開発には地

「遠くで聞いた Good とハナシ」は、遠方にいる勝浦町ゆかりの人物に話を伺う企画です。今回、長野県松本市で特産品開発をおこなう「大西堂」を営む大西祐次郎さん（横瀬出身）取材しました。大西さんは特産品「おやきもち」の開発・販売を手掛けており、また、動画投稿サイト YouTube で、ご自身のチャンネルを持つなど、幅広く活動しています。そんな大西さんに、外から見た勝浦町について、勝浦発展のアイデアを伺いました。

——大西さん、今日はよろしくお願いします。

大西 よろしくお願ひします。

——さっそく質問ですが、こういった経緯で長野県在住に。

大西 東京の専門学校に進学、都内で広告関係の会社に就職して長野出身の妻と知り合った。結婚を機に移住し、松本市の広告会社に就職しました。

——独立のきっかけは。

大西 コロナ禍により業務がテレワークになり、窮屈な生活を強いられる中、令和2年11月に独立、令和3年5月には「株式会社次大」を設立。「次大」には自分の名前と「次から次に大きな仕事を成し遂げ、成長していく」という思いも込められています。



大西堂のおやきもち

大西 YouTube のフォロワーさんが地元にあるチーズ会社に勤めていて、共同開発を持ちかけられたり、地元の中学校が「そば粉」を製粉する時に出る副産物「さな粉」の有効活用方法を探っていたので、そば粉を使った「五平おやきもち」の皮に使うことになりました。

——信州の郷土食「おやき」をアレンジして開発した「おやきもち」が販売され1年余りが過ぎ、リニューアルするとのことだが。

大西 おやきもちのコンセプトとして、「若者に食べてもらいた

(議員名あみかけ項目は記事掲載あり)

防災・まちづくり	
防災	井出 花房
上下水道	長尾 内谷
道路・橋	瀬戸 花房
公共交通・公共施設	美馬
最低賃金	鄒
教育・子育て	
スポーツ振興・クラブ	花房 玉置
星谷運動公園	玉置
観光・にぎわい	
恐竜	福井
音楽	長尾
農業振興	
アンケート	瀬戸
ドローン関連	井出 内谷
有害鳥獣	長尾 瀬戸
畜産団地	福井
医療・福祉	
補聴器助成	井出
食育	長尾
コロナ	福井 美馬
救急対応	美馬
その他	
自衛隊	井出
野焼き	福井
広報誌	美馬
財政	鄒



ドローン導入助成を

県の補助でJAがドローンを購入

消毒や施肥の労力軽減が期待されているドローンの導入を。

井出 美智子 議員
農振課長 免許取得者に限度額10万円、2分の1助成を実施。4月に推進協議会を立ち上げた。また、県の補助でJAがドローンを購入し、オペレーターにリースする事業を始める。中山間直接支払制度スマート加算が10a当たり5000円つく。

中山間の参加者しか利用できないのか。

農振課長 誰でも利用できるように制度を整備中。

高齢者こそドローン散布が必要。委託散布への補助をしたらどうか。

農振課長 委託散布への補助は検討して

いない。

低コスト工法で耐震改修を

高知県黒潮町では低コスト工法で耐震改修が進んでいる。低コスト工法とは。

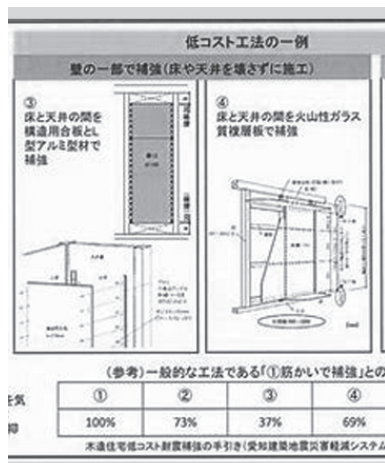
建設課長 壁や天井を取らずに壁の上から構造用合板やアルミの板を貼りコストを下げるやり方。

黒潮町は125万円以内であれば個人負担が0円、令和3年148件、4年90件と進んでいる。勝浦町は補助率5分の4だが実績は何件か。

建設課長 令和3年0件、4年1件。

自己負担が0という発想の転換が必要だ。黒潮町の取り組みを取り入れたらどうか。

町長 限度額は200万円と勝浦町が有利である。低コスト工法の研修が必要だ。



勝浦も個人負担ゼロに



用水路が詰まると大変



町民音楽家にも活動の場を

活力ある音楽の町へ進め

長尾 隆資 議員
若あゆ会議の質問後、たくさんの方から音楽が楽しめる街にと再度要望があった。身近な町民音楽家にも活動の場を提供する支援をしてもらいたい。電源のめどがつけば、音楽家のみなさんは人を集め各自が盛り上げてくれる。音楽奏者のための電源コインボックスを先ず1カ所設置を願えないか。

教委局長 コインボックスとなると電気事業法に定められている小売り電気事業者ということになり、設置できない。何か支援はできないか協議する。行事、イベント等の申請をして頂き勝浦町及び教育委員会名義で後援しているが、何か違う形での支援を検討できればと考えている。

合併浄化槽への転換の推進を

30年経過した住宅用単独浄化槽の老朽化による漏水で撤去指導となったという新聞記事があった。より一層の合併浄化槽推進を広報かつうら、ホームページで補助金制度を再案内してはどうか。

水道課長 特定既存単独浄化槽の指針の運用については県が実施。勝浦町としては県と連携し必要に応じ、パンフレット、ホームページ等で周知し、引き続き合併浄化槽の転換を推進する。

単独浄化槽による生活、農業用水の汚泥悪臭、異常気象で大量の藻や水草発生により、用水路詰まりで水稻農業に支障が出ている。詰まり防止フェンスの設置をしてはどうか。

農振課長 水資源の代表役員と協議し、水路を阻害する障害物の撤去は多面的機能支払い交付金を活用する。

徹底調査 100人に聞きました！
わたしと勝浦町

いのうえ ともや
井上 知哉 (横瀬) 20代

愛媛から医療福祉専門学校に来て学生寮で生活しています。町は静かで勉強に集中しやすい環境で、スーパーやコンビニ、病院など最低限生活に必要なものは揃っています。卒業後も勝浦町には遊びに来たいです。



はやし ひろき
林 宙輝 (坂本) 20代

今年の春、坂本に引っ越し、古民家を借りて暮らしています。お風呂を薪で焚き、たまに焚き火をしながらお酒を飲む。この時間が格別で心身のバランスが良くなった感じがする。この先、どんな発見、出会いがあるのかまだまだ楽しみです。



のみぐち やすひろ
呑口 泰弘 (横瀬) 70代

昭和59年から「支那そば呑口」を両親と始め40年になります。支那そばをメインに日替わりのおかずを4、5品用意しています。飲食店が減ってきている中、1日でも長く営業を続けたいです。



かつらぎ しょうん
桂木 笑温 (横瀬) 20代

豊かな自然に恵まれ、春には色鮮やかなひな人形が町全体を彩る勝浦町。全てを含めた青春の日々が勝浦町と共にあります。たくさんの思い出が詰まった勝浦町は大切な居場所。これからもこの町でしっかり生きて行こうと思います。

なかた あつし
中田 敦士 (久国) 40代

役場に就職して25年が経ちました。人口減少に歯止めがかかりませんが、「住み続けたい」「帰ってきたい」「暮らしてみたい」活気ある元気な勝浦町をめざし町民のみなさんとともに頑張ります。



ゆ あき ともゆき
湯浅 知延 (西岡) 40代

子ども達が大人になっても、ずっと住み続けられる勝浦町になるように、頑張っていきます。



とだ ともひろ
戸田 智啓 (坂本) 60代

勝中に始まり勝中で終えた通算5度の勝中勤務。その度ごとに多くの方々に支えていただきお世話になった。ありがとう。この感謝の気持ちをふるさとの地域貢献にコツコツとつなげていきたい。





完成から28年 老朽化している畜産団地

福祉課長 予防接種法に基づき、本人が希望する場合接種ができるよう案内を送るのが、市町村の務めである。

——ワクチンは接種後の重篤な副反応や死亡例の報告があるが、接種案内を送り続けるのか。

福祉課長 65歳以上の方が2164人。

10月19日から始まった勝浦病院での集団接種は合計485人の方が受けた。実際の申し込みは660人あった。町外で接種された方が報告されていないので、いまのところ485人。

——ワクチンは接種後の重篤な副反応や死亡例の報告があるが、接種案内を送り続けるのか。

福祉課長 65歳以上の方が2164人。

10月19日から始まった勝浦病院での集団接種は合計485人の方が受けた。実際の申し込みは660人あった。町外で接種された方が報告されていないので、いまのところ485人。

——ワクチンは接種後の重篤な副反応や死亡例の報告があるが、接種案内を送り続けるのか。

福祉課長 65歳以上の方が2164人。

10月19日から始まった勝浦病院での集団接種は合計485人の方が受けた。実際の申し込みは660人あった。町外で接種された方が報告されていないので、いまのところ485人。

——ワクチンは接種後の重篤な副反応や死亡例の報告があるが、接種案内を送り続けるのか。

福祉課長 65歳以上の方が2164人。

10月19日から始まった勝浦病院での集団接種は合計485人の方が受けた。実際の申し込みは660人あった。町外で接種された方が報告されていないので、いまのところ485人。

——ワクチンは接種後の重篤な副反応や死亡例の報告があるが、接種案内を送り続けるのか。

福祉課長 65歳以上の方が2164人。

10月19日から始まった勝浦病院での集団接種は合計485人の方が受けた。実際の申し込みは660人あった。町外で接種された方が報告されていないので、いまのところ485人。

——ワクチンは接種後の重篤な副反応や死亡例の報告があるが、接種案内を送り続けるのか。

福祉課長 65歳以上の方が2164人。

10月19日から始まった勝浦病院での集団接種は合計485人の方が受けた。実際の申し込みは660人あった。町外で接種された方が報告されていないので、いまのところ485人。

——ワクチンは接種後の重篤な副反応や死亡例の報告があるが、接種案内を送り続けるのか。

福祉課長 65歳以上の方が2164人。

10月19日から始まった勝浦病院での集団接種は合計485人の方が受けた。実際の申し込みは660人あった。町外で接種された方が報告されていないので、いまのところ485人。

——ワクチンは接種後の重篤な副反応や死亡例の報告があるが、接種案内を送り続けるのか。

福祉課長 65歳以上の方が2164人。

10月19日から始まった勝浦病院での集団接種は合計485人の方が受けた。実際の申し込みは660人あった。町外で接種された方が報告されていないので、いまのところ485人。

——ワクチンは接種後の重篤な副反応や死亡例の報告があるが、接種案内を送り続けるのか。

福祉課長 65歳以上の方が2164人。

10月19日から始まった勝浦病院での集団接種は合計485人の方が受けた。実際の申し込みは660人あった。町外で接種された方が報告されていないので、いまのところ485人。

——ワクチンは接種後の重篤な副反応や死亡例の報告があるが、接種案内を送り続けるのか。

福祉課長 65歳以上の方が2164人。

10月19日から始まった勝浦病院での集団接種は合計485人の方が受けた。実際の申し込みは660人あった。町外で接種された方が報告されていないので、いまのところ485人。

——ワクチンは接種後の重篤な副反応や死亡例の報告があるが、接種案内を送り続けるのか。

福祉課長 65歳以上の方が2164人。

10月19日から始まった勝浦病院での集団接種は合計485人の方が受けた。実際の申し込みは660人あった。町外で接種された方が報告されていないので、いまのところ485人。

——ワクチンは接種後の重篤な副反応や死亡例の報告があるが、接種案内を送り続けるのか。

福祉課長 65歳以上の方が2164人。

10月19日から始まった勝浦病院での集団接種は合計485人の方が受けた。実際の申し込みは660人あった。町外で接種された方が報告されていないので、いまのところ485人。

——ワクチンは接種後の重篤な副反応や死亡例の報告があるが、接種案内を送り続けるのか。

福祉課長 65歳以上の方が2164人。

10月19日から始まった勝浦病院での集団接種は合計485人の方が受けた。実際の申し込みは660人あった。町外で接種された方が報告されていないので、いまのところ485人。

——ワクチンは接種後の重篤な副反応や死亡例の報告があるが、接種案内を送り続けるのか。

福祉課長 65歳以上の方が2164人。

10月19日から始まった勝浦病院での集団接種は合計485人の方が受けた。実際の申し込みは660人あった。町外で接種された方が報告されていないので、いまのところ485人。

——ワクチンは接種後の重篤な副反応や死亡例の報告があるが、接種案内を送り続けるのか。

福祉課長 65歳以上の方が2164人。

10月19日から始まった勝浦病院での集団接種は合計485人の方が受けた。実際の申し込みは660人あった。町外で接種された方が報告されていないので、いまのところ485人。



福井 裕美 議員

住民の命と財産のために 畜産団地について

——老朽化した施設。修繕の予定はあるのか。

農振課長 施設の維持管理は使用者の負担をお願いしている。

——もし今利用している2社が畜産事業を辞めてしまった場合、この広い施設はどうするのか。

農振課長 想定はしていない。今後も使用してもらえよう協議を重ね、継続して利用していただきたい。

——施設完成当初は利用者に払い下げるという予定だったが、現在はどうか。

農振課長 早い段階で使用者さんと払い下げを含め協議したい。

町長 現在、事業者が少なくなってきた中で、一人で負担するのは厳しい。払い



勝浦も移動式炭化焼却装置の導入を

農振課長 必要であれば導入する。

農振課長 必要であれば導入する。

農振課長 必要であれば導入する。

農振課長 必要であれば導入する。

農振課長 必要であれば導入する。

農振課長 必要であれば導入する。

農振課長 必要であれば導入する。

農振課長 必要であれば導入する。

農振課長 必要であれば導入する。

農振課長 必要であれば導入する。

農振課長 必要であれば導入する。

農振課長 必要であれば導入する。

農振課長 必要であれば導入する。

農振課長 必要であれば導入する。

農振課長 必要であれば導入する。

農振課長 必要であれば導入する。

農振課長 必要であれば導入する。

農振課長 必要であれば導入する。

農振課長 必要であれば導入する。

農振課長 必要であれば導入する。

農振課長 必要であれば導入する。

農振課長 必要であれば導入する。

農振課長 必要であれば導入する。

農振課長 必要であれば導入する。

農振課長 必要であれば導入する。

農振課長 必要であれば導入する。

農振課長 必要であれば導入する。

農振課長 必要であれば導入する。

農振課長 必要であれば導入する。

農振課長 必要であれば導入する。

農振課長 必要であれば導入する。

農振課長 必要であれば導入する。

農振課長 必要であれば導入する。

農振課長 必要であれば導入する。

農振課長 必要であれば導入する。

農振課長 必要であれば導入する。

農振課長 必要であれば導入する。

農振課長 必要であれば導入する。

農振課長 必要であれば導入する。

農振課長 必要であれば導入する。

農振課長 必要であれば導入する。

農振課長 必要であれば導入する。

農振課長 必要であれば導入する。

農振課長 必要であれば導入する。

農振課長 必要であれば導入する。

農振課長 必要であれば導入する。

農振課長 必要であれば導入する。

農振課長 必要であれば導入する。

農振課長 必要であれば導入する。

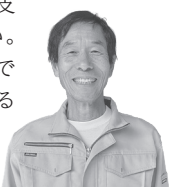


米田 孝博 (横瀬) 70代

夏40℃にもならず、それ程雪も降らず豪雨や地震災害も起きていない勝浦町がいに住みよいか。この歳になって気づくのです。若い人がいつ気づくのか、それとも気づかないままなのでしょう。

押栗 義衛 (与川内) 70代

徳島駅伝に中3から37年連続出場し、引退後も支援している。若い世代の頑張りに注目してほしい。走り鍛えた足腰のおかげで元気にみかん栽培ができています。若い人が町内で仕事をして生活ができるような施策を町には進めてもらいたい。



森 絵里 (石原) 20代

勝浦町で生まれ育って29年。子どもたちと共にこれからも住み続けたいと思える町です。町には、これからも子育て支援の充実を継続して推進してほしいと思います。



野上 ユキエ (棚野) 80代

嫁に来て66年。川がきれいだと鮎がたくさん採れ、子ども達を連れての網漁は楽しかった。今後は人口が増えること、大きな商店が必要と思っている。「ゆきばーちゃん」と言ってくれるひい孫と遊ぶことがとっても楽しい。



大亀 心 (久国) 小学生

横瀬小学校一年生です。一心会、勝浦道場で空手ががんばっています！

米澤 陽菜 (久国) 20代

徳島大学で教員をめざし日々努力しています。生まれ育った勝浦で、教員として働くことができるように頑張ります。



米田 真由美 (与川内) 40代

やっこ連で踊っています。小児科の診察日を増やしてほしいです。

徹底調査 100人に聞きました！ わたしと勝浦町

近藤 茂芳 (西岡) 70代

活気ある町をめざし頑張ってきましたが、年齢と共に、また髪の毛と共に寂しくなってきました。まだまだやるぞ、がんばるぞ！もうちょっとだけ！



はなふさはな かついち 花房 勝一 議員

町道の底地の名義問題
町道敷地の名義が変わっていない所はペナルティの対象か

町道の名義が変わっていない所がある。なぜか。

建設課長 地区要望を受け町が工事している。登記は申請者が実施するところがあるのでないことが原因である。

今年の4月より相続登記が義務化され、できていない土地はペナルティが課せられる。名義が変わっていない所も対象になるのか。

建設課長 自治体所有の不動産は一般取引の対象になりにくく、ペナルティがあるとは認識していない。

地籍調査時に名義の変更はできないか。

農振課長 作業規定準則において所有権

の変更は規定されていないためできない。

農業振興課と建設課が連携し、相続登記をお願いしていくべきと考えるが。

建設課長 連携を深めて建設課に相談してもらおうようにする。

スポーツ振興について

去年好評のソフトボール大会が今年開催されなかったのはなぜか。

教委局長 人手不足のため、別の種目の実施をするようになった。

町内の若い世代のコミュニティが少なくなってきた。体育協会の在り方について以前の答弁において、関係者と協議し教育委員会としての方針を明確化していくとあった。どうなったのか。

教委局長 生涯スポーツと競技スポーツを担う役割を含めた組織体制を整理し、関係者とスポーツ協会の立ち上げに向け協議している。

(様式2) 土地寄附証書

末尾記載の私所有の土地を勝浦町道敷地として寄附し、地所の引渡しを行います。つきましては、この土地に関し万一他より紛争等申し出る者がありませんときは、私に於て一切を引き受け勝浦町に送付はつかないものとします。後日のため、この証書を差し入れます。

寄附者 氏名 勝浦町長 殿

寄附申請者および寄附物件の表示

寄附物件の住所	寄附物件の所在地
勝浦町大字	勝浦町大字
勝浦町大字	勝浦町大字
勝浦町大字	勝浦町大字
勝浦町大字	勝浦町大字
勝浦町大字	勝浦町大字
勝浦町大字	勝浦町大字

自分で登記？



環境への配慮も



うちたに やすひろ 内谷 安宏 議員

環境へ配慮したドローン防除を
ドローン防除の勝浦町版ガイドラインが必要

協議会で作る考えはあるか。

農振課長 農林水産省のガイドラインは具体的ではない。協議会で検討したい。

農薬の倍数変更の登録は、残留農薬の試験が免除されている。作物の残留農薬の確認が必要なのは。

農振課長 情報収集を行い、安全、安心が確認できるよう努め、国の基準に合わせた運用を考えている。

ドローン防除での生産性向上と環境への配慮のバランスについて、町が取り組む姿勢は。

町長 薬剤の混用、残留農薬が適切でないということはあつてはならない。ガイド

ラインを協議会、農家、中山間の集落協定で十分協議して決めていく。今後、中山間が中心となった体制で進めるので、農家の意見もだいたい反映される

水道未普及地域への支援は

勝浦町の水道未普及人口は。

水道課長 令和5年度末で普及率は89・4%。令和6年度3月末の人口が4657人なので、492人が未普及者となる。

水道未普及世帯では川などの水源としているが、メンテナンスに町からの支援はあるのか。

水道課長 支援はある。専門業者への委託費が対象となり、補助額は3分の1以内で20万円が上限となる。

水道未普及地域への町の方針は。

町長 地域の方の要望が高まってきたときには、町としては計画をしなければいけないと思う。

徹底調査 100人に聞きました！
わたしと勝浦町



おおした れん 大下 蓮 (生名) 10代

勝浦町に住んで14年、これからも自然豊かな勝浦町でしっかりと勉強したいです。将来は車の整備士になってたくさん車の車を修理したいです。

はやし どうあ 林 東亜 (生名) 10代

今は部活で忙しいけど、来年は陸協に入って長距離を頑張りたいです。徳島駅伝の選手になって勝浦を盛り上げていきたいです。



もり まさし 森 真志 (石原) 20代

生まれ育った勝浦町でこの先も暮らしていきたい。将来、子ども達も同じように勝浦町に残りたいと思うような政策、まちづくりを継続して欲しい。



かわの えみこ 河野 恵実子 (中山) 40代

ご縁があり勝浦町に引越してきました。子どもにとっても自然にふれる機会が多く、いろいろな畑で農作業する時も、おじいちゃん、おばあちゃんが声をかけてくれて、人ともふれあえる、あたたかい町だなと思います。



いたみ しんご 伊丹 眞悟 (横瀬) 60代

グローバル時代、若者には、この勝浦町でしっかり学び広い世界で活躍・貢献する人材に成長してほしい。私も来年古希を迎えます。この町で生まれ育ち本当に良かった。多くの町民のみなさんには心から感謝しています。

たに もとこ 谷 扶子 (棚野) 70代

勝浦町の素晴らしい所は、福祉が充実していることです。私の母も手厚い介護の中、楽しく過ごさせてもらっています。このような暮らしのできる勝浦町に若い方も、どんどん移住して来てほしいと願っています。



さいとう かずよし 斎藤 選嘉 (掛谷) 80代

みかん、米、野菜作りと現役で働いています。100歳まで現役でいきたいです。みかんや米がもっと高くなれば、後継者が増えると思います。



まつだ さだお 松田 貞雄 (久国) 60代

私は勝浦座の座長です。久国で江戸時代から200年の歴史ある、人形浄瑠璃を継承しています。また、三番叟は、地鎮祭や大宮八万神社に奉納しています。農村舞台や和田島漁港で、豊漁祈願を、十郎兵衛屋敷にて、定期公演もしています。



轟け 金管の演奏

ビッグひな祭り等のイベントに参加して勇壮な音色を響かせ、観客の心に訴え勇気づけてきた金管バンドが今年中止となっているがなぜか。

教委局長 人事異動で金管を教えることのできる教員が配置できなかった。

——— どうすれば金管バンドの存続ができるのか。教員の定数や配置が適正に行われていたか。

教育長 教員定数の法律どおり配置している。小学校の音楽授業資格は全員持っているが、金管バンドの指導は音楽に十分な知識や技能を持ち、金管の指導経験がある教員の配置が必要になる。

——— 来年度の方針は。

教育長 伝統ある金管バンドが休止している状況を県教育協議会に強く訴え、次年度の教員異動には指導できる教員の配置を強く要望したい。



フィットネスジムを無料に

るべきでは。

教委局長 魅力ある施設として今後検討してみる。

子どもの成長支援 言語指導を

——— 子どもは、口元を見て真似することから始まる。表情や視線で気持ちを察することができると、その手がかりがマスクで減ってしまった。保育園の先生の研修に専門家である言語聴覚士を講師に迎えては。

園で専門家に指導してもらえると悩みも解決しやすい。年に1、2回なら予算つけられると期待する。

福祉課長 言語訓練が必要な子どもは7人、昨年が9人。言語聴覚士による巡回指導があり、個別に配慮が必要な子どもへの保育指導を受けたり、全体研修も行っている。

玉置 守 議員

——— 令和5年度に設置した遊具が6年8月台風10号により被災したが、復旧に時間を要した理由は。

教委局長 予算を抑えられる方法はないか検討し時間がかかった。

——— 公衆トイレのLED照明化、洋式化や女性の入りやすい環境整備が必要だ。運動公園ゾーンとして交通安全や防災対策などが必要では。

教育長 運動公園は健全なスポーツ及びレクリエーションの普及を図り、町民の体力向上を目的として設置されている。限られた予算の中でメンテナンスをしっかりと行い、魅力向上に取り組みたい。

生比奈小学校金管バンド存続について

——— 県下の音楽会、みんなの運動会、



教育委員会の対応に疑問

星谷運動公園を有効活用するために

美馬 友子 議員



少子化や過疎化を止めたい

利用したくなる公共施設へ

——— コロナ禍で負担が多かった女性や若者に物価高騰対策や支援が少なかった。町はものすごいスピードで人口が減っている。経済的支援はできないか。

副町長 いろいろな対策を講じてきた。低所得者、弱者の救済、次にインフラの充実が基本。

——— 改善センター実習室を改修できるまで無償化にはどうか。

副町長 安価で利用してもらっている。受益者負担は必要。

——— すべてを無料にとは考えていない。フィットネスジムを無料にするだけでも、町民の健康に、また若者が集まりやすく、交流や出会いの場にもなれると思う。もっと利用したくなる公共施設にす

動画で一般質問を見る

一般質問の全編を動画投稿サイトYouTubeにて閲覧いただけます。



<https://www.town.katsuura.lg.jp/gikai/chukei/>

議会広報バックナンバー

過去に発行した勝浦町議会広報をインターネットで閲覧することができます。



<https://www.town.katsuura.lg.jp/gikai/dayori/>

ますだ としひで
増田 俊英（久国）40代

高齢者施設に勤務していたが、2018年に「やすらぎや」というあんま・マッサージ店を開業。店名には町民にゆっくりと寛いでほしいとの思いがあり、「やすらげる」場をこれからも提供していきたいです。



さかもと な み こ
坂本 菜未子（生名）30代

地域おこし協力隊として移住し、1年半。さまざまな活動に参加させてもらって、勝浦町の魅力を発信できていないことにもどかしさを感じています。少しずつではありますが、関係人口を増やしていく活動を続けていきたいです。



なかむら さだ こ
中村 貞子（石原）70代

大空の下、日課のラジオ体操から今日が始まる。周りの山や川、広がる田畑、見慣れた眺めに心が落ち着く。この約束された豊かな自然に勝浦町の明るい未来を託したい。



みやもと な ほ み
宮本 奈保美（星谷）50代

ほどよく田舎でのんびりとした町。市内まで遠すぎず近すぎず、便利で住みやすい町かつうら。居住対策に重点をおき移住者U・Iターン者増を切に願います。子どもから高齢者まで安心安全、アットホームな町が理想です。

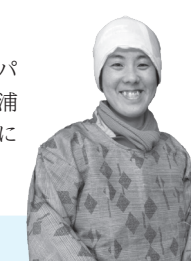
はなな まさ こ
花棚 雅子（横瀬）40代

勝浦町で生まれ育ち、あつという間に自分が親世代になりました。これからも子ども達がのびのびと暮らせる勝浦町であってほしいと思います。



おおとも か よ
大友 香代（与川内）40代

移住して14年。近所のみなさんによくして頂き、自宅にパン工房を構え、保護動物たちと楽しく暮らしています。勝浦町だからこの生活ができていると思います。私たちのように何かをはじめたい移住者さんが増えることを願っています。



徹底調査 100人に聞きました！
わたしと勝浦町

やまもと あきひろ
山本 晃大（生名出身）40代

私にとって勝浦町とは原点であり故郷であり、何よりみなさんに育ててもらった場所です。年を重ねる度にその有難味が増しております。これからは勝浦での活動を広げつつ、映画の上映を通じて県外にも勝浦の魅力を届けていきます！



かたやま えい こ
片山 栄子（山田）60代

勝浦座で人形浄瑠璃の木偶回しをしています。毎週のように阿波十郎兵衛屋敷、高齢者施設ボランティア、県外公演、各種イベントに参加しています。町の伝統芸能を次世代に継承していけたら、うれしいです。



商工会と連携

総務課長 中・長期的な財政見通しを立て、起債を上手く活用して平準化を図りながら、必要な事業に対応していく。

—— 今後のほかの事業への影響は。

総務課長 過疎債の有効活用を心掛けられ、現在の水準は維持できる見通しである。

星谷橋架け替えの事業費 財政への影響は

—— 星谷橋架け替えの事業費が当初の18億円から45億円と大幅に増えている。町広報9月号には財政的に心配ないと記載されているが、数字的な裏付けがあれば、町民の安心感が広がる。財政調整基金の残高は予想より増加傾向にあり、令和5年度末では約24億円になっている。今後の見通しは。

町長 商工会とも知恵を出し合って有効な支援策を検討していく。地方創生交付金が増額される際には、思い切った施策が出せるよう準備する。

—— 従業員の雇用を守る事は、地域経済の維持、発展に不可欠である。使い勝手の良い町独自の施策が必要では。

企画課長 今までも、賑わいづくり各種交付金活用事業に協力し合ってきたが、最低賃金対応でも協議を重ね事業の構築を図る。

議員 篠 公一



最賃アップに対する支援を
商工会と連携し対応する

—— 徳島県の最低賃金が980

円に引き上げられ、今後も1500円が目標となっている。大幅な引き上げは小規模事業者の体力を奪いかねないため、適切な支援策が必要である。商工会との連携は。

動画で一般質問を見る

一般質問の全編を動画投稿サイトYouTubeにて閲覧いただけます。

<https://www.town.katsuura.lg.jp/gikai/chukei/>



議会広報バックナンバー

過去に発行した勝浦町議会広報をインターネットで閲覧することができます。

<https://www.town.katsuura.lg.jp/gikai/dayori/>



徹底調査 100人に聞きました！わたしと勝浦町



まえの すみひと
前野 住人（横瀬）60代

家業を継いで40年あまり、平成6年から焼きたてパンをメインにチーズケーキなどの洋菓子を展開してきた。店舗を構え80年ほどになるが、これからも地域住民に愛されるパン屋として頑張りたい。

いまい ほか（棚野）20代

私は今井ほか 24歳。勝浦こすもす保育園で保育士をしています。子どもたちが安心して笑顔で過ごせるように心がけています。子どもたちに寄り添いながら一緒に成長していきたいと思っています。



まえだ まさひと
前田 正仁（沼江）50代

みかん農家。歩くのが好きなので、中津峰、鶴林寺へ行ったり、音楽仲間達と星谷運動公園でコンサートを開催するなど、町内外の人とも交流しています。ごみリサイクルが難しいのもっと簡単にしてほしいです。



すみともの ぼる
住友 登（沼江）80代

子ども達が独立し、定年退職後は趣味の写真や盆栽を楽しんでいます。化石にも興味があるので、5年間発掘に挑戦しました。これからも写真を続けていきたいと思っています。



わきさか ふか
脇坂 楓香（西岡）30代

勝浦町のひらけた明るい土地が好きで引っ越してきて4年。まもなく2人目の子どもが産まれます。縁もゆかりもない私たちですが、のびのび子育てのできる環境に感謝しています。もっと子どもが増えてくれたらなと願っています。

やまにし かずこ
山西 一子（今山）80代

地元の老人会会長をしています。会員で神社、お墓への道掃除。ゴキブリだんご、お寿司、バナナケーキ、蒟蒻などいろいろ作っています。今年は太鼓の子ども達にたこ焼きを作りました。お年寄りが元気に楽しく生きていける町にしていきたいです。



なかがわ かずひろ
中川 一宏（坂本）50代

「理容中川」の3代目として39年間、多くの町民の髪を整えてきました。お客さんとのやり取りの中で、地域のさまざまな情報を知ることができます。地域になくてはならない職業なので、ハサミを握れるうちは続けていきたいです。



ひきうち ちあき
引地 千晶（与川内）40代

子どもが高校生の時、夫を亡くしました。大変だった時、周囲のみなさんに良くしていただき助けられました。本当に感謝しています。これからは、少しでも恩返しをしていけたらと考えています。



いわき ふみお
岩城 文夫（坂本）50代

自然豊かな勝浦で住んで、早や50数年の歳月が過ぎ、人生の残りは好きなゴルフや最近興味のある登山にチャレンジしていく。また、昨年初めて完走した徳島マラソンの自己ベスト更新をめざし、健康的な生活をしていきたいと思う。



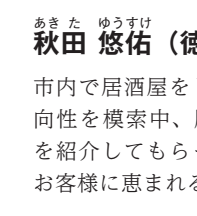
まるせき ようこ
丸関 陽子（横瀬）60代

定年を迎える歳になり、地域での活動が増えました。地域に育てられたことに気づき感謝する機会が多い私にとって、勝浦町はこれからも住み続けたい町です。この輪の広がりを切に願っています。



おおたか はるき
大高 治樹（星谷）40代

かつて賑わいを見せた大宮神社の秋祭り、伝統の太鼓演奏は続けることが難しくなり、この文化を次の世代に引き継ぐため、地域のみなさまのご協力が欠かせません。どうか太鼓の音を響かせ続けるために、力を貸してください。



あきた ゆうすけ
秋田 悠佑（徳島市）30代

市内で居酒屋をしていたが、コロナ禍の影響で今後の方向性を模索中、勝浦町で休業中の「お持ち帰り寿司屋」を紹介してもらった。事業を受け継ぎ2年が過ぎ多くのお客様に恵まれる中、先代の名に恥じぬよう努力したい。



しみず ゆうしん
清水 優心（生名）小学生

生比奈小学校でみんなと一緒に少年野球を頑張っています。目標は高く、優勝して全国大会に行ってみたいです。みんなの目にとまるような選手になりたいです。

みやもと しゅん
宮本 駿（星谷）10代

公共施設が不十分なので、子どもから大人まで集える談話室、中高生の自習学習ができる自習スペースがあると良いと思います。



議会だより
100号
特別企画

先達に訊く

議員OB

100号を 迎えて



大西一司さん

15年前の50号記念発行に携わりました。パソコンが普及していない時代の広報創生期での手書きで何回も書き直し、何日も夜遅くまで編集作業を繰り返すなどの苦労話は身につまされる思いでした。

50号発刊時には現在の形ができていましたが、それは先輩達が苦労して築いてくれた礎の上にありました。当時は議会改革を進めており、その熱意が町の元気につながるとの思いで議員一丸となり頑張っていました。

議会だより100回記念誌を通過点としてさらなる改良・改革を通して、議会や町がますます発展されるよう期待しています。



井出幸夫さん

45年ほど前、青年たち50人ほどからの陳情で発行が始まりました。「公平なものにすべき」という理由で、編集作業は議会事務局の職員が担当することになり、数年発行されました。あまりにも職員の負担が大きすぎ、とうとう挫折。その後、議員による編集体制が作られ、今日まで続いています。

編集委員は、一般質問などほかの人の原稿をチェック、修正するのは大変な作業で、議員本人と編集委員がよくもめていました。今の広報は、住民が参加する企画が多く、よく工夫されていると感心しています。



国清一治さん

「広報広聴」町民参画へ歴史を刻む。創刊号は私が町職員の時でした。当時、議員自ら全ておこなう」と聞き、町広報の経験から、議員さん大変だなと思っていたら、平成19年に議員となり、議会広報委員に。一般質問のチェックに始まり、表紙の写真、トピックスを何にするかなど時には委員間で激論が飛ぶ。

しかし何よりも大切なのは「いかに町民に広く読んでいただくか」それに尽きます。そのために「広聴」として、平成24年から広報モニターがスタート。随時、多くの町民に参画を求め特集も組んだ。

数々の全国表彰はその成果でもある。



押栗義雄さん

100号議会広報発行お祝い申し上げます。私が議長在任中に議会広報第1号を発行。

27年が経過し、懐かしい思い出です。歴代議員各位のたゆまぬ努力があつて、今日まで町民に親しまれる広報としての記念誌発行は特筆に値します。

令和7年を迎えるにあたり、町の基幹産業のみかん栽培も赤信号が予想され、町の未来像にどう対応するのか課題が山積みです。深刻な鳥獣害対策を放置すると被害が増え、みかん畑、野菜畑等放棄園が増え続けます。町が中心となり、未来に向かって知恵を出し合うことが急務です。町民、議員各位の一層のご活躍とご発展を祈念いたします。

議会だより100号発行おめでとうございます。

私たちが初めて取り組んだ1997年時は、議員自らが編集しているのは全国で25%程でした。県内で単体の議会広報誌として、発行していたのはわずか数町村。ほとんど議会事務局職員による編集だったようですが、勝浦町議会では議員自らが編集した広報誌の発行をめざしました。

手探りの状態から出発し大変な苦労もありましたが、なんとか創刊号発行に至りました。懐かしい思い出です。



国清栄さん



谷尻 廣美 (中山) 60代

勝浦で生まれ育ち、さまざまな出来事があり、家族、周りの人達に助けられてきました。最近ではさまざまな分野の人達と関わりを持たせてもらい、今度は地域の人達にお返しができたかと思っています。いつまでも住み続けたいと思う勝浦町であってほしいです。

北野 瑞季 (横瀬) 20代

愛媛県の出身で専門学校の生徒です。寮生活をしていますが、勝浦町は夜の星がとてもきれいで住民の方は優しい人ばかりです。ファミレスがあれば生活が楽しくなると思います。



生家 道雄 (与川内) 60代

少しでも人の役に立てればと、いろいろなことに挑戦してきました。水防や消防を担うのはわが町の消防団です。約200人の団員が有事にはすぐ出動できるよう日夜訓練しています。その一員としても長年お世話になりました。

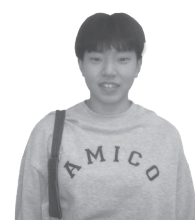


時本 昌典 (小松島市) 50代

来年で操業100年を迎える製材所を営んでいます。31歳の時に継ぎました。労働生産性を上げ、賃金アップを図り、これからも地域に根ざした事業を継続したいです。人と人とのつながりを大切に、明るく朗らかな町であってほしいです。

鶴居 義道 (横瀬) 50代

常備消防が設置されていない勝浦町。消防団員はそれぞれが仕事を持っているので、負担軽減を考慮した対策を取って頂きたい。今後の行政に期待します。



北峯 綾乃 (横瀬) 10代

小学2年生の時にバレーを始めました。バレーをする中で地域の多くの方々を支えられている事を知りました。将来、バレー(スポーツ)で勝浦町に恩返ししたいと思います。

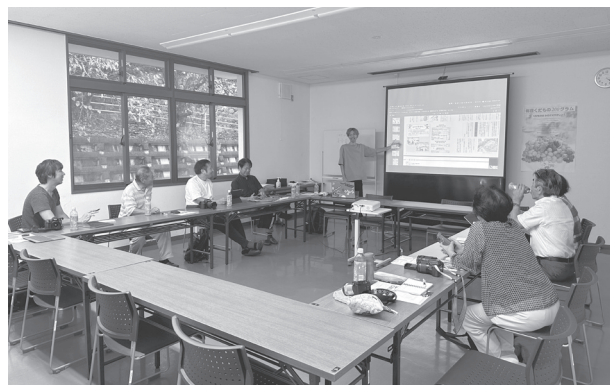
徹底調査 100人に聞きました!
わたしと勝浦町



溝上 博己 (棚野) 60代

関東に住む子や孫達が帰省の際、「星がきれい」「川遊びや広い畑や広場であそべる」と喜んでいる。都会っ子には、勝浦が魅力的であるように、この町に住む私達にとってもいつまでも魅力的な町であってほしいと願っています。





写真力アップ!



農業集落排水施設

議会広報の写真力アップ
さらに良い広報誌をめざして、写真撮影講習

10月3日にかんきつテラスにて、広報紙掲載写真の質向上を目的とし、勝浦町議会広報常任委員会研修会を開催しました。

一眼レフカメラとスマホのカメラの特性を学びました。広報掲載の写真撮影に生かしていきたいです。

理解を深めるために
町内の各施設を見学

10月10日全議員で町内各施設を視察しました。

農業集落排水施設、星谷橋、沿江パイロット園地、不燃物処理場、勝浦アグリネット、畜産団地を見学し、各施設の管理者や担当課から現状の説明を受けました。それぞれの改善点や取り組みの必要性を強く感じました。



11月7日、宮城県色麻町の議会運営委員会から8人が来町。女性議会、通年議会、町民とのキャッチボール等熱心に質問があり有意義な会談となりました。



固定資産評価審査委員をはじめ、複数の委員任命に同意。

勝浦町固定資産評価審査委員会委員
稲岡 武（星谷）再任

勝浦町教育委員会委員
木原 毅（棚野）再任

勝浦町人権擁護の諮問に答申
河野 稔彦（中角）新任

うえまつ わかな 植松 和奏（与川内）10代

中学校の音楽部で琴を弾いています。地元やっこ連で阿波踊りも踊っています。今までがどうだったのか分からないけど、今後、交通の便をよくしてもらって、いろんな人が行き来してもらえる勝浦町になってほしいです。



せと ともこ 瀬戸 智子（石原）50代

自然に恵まれ観光に力を入れている勝浦町。しかし何か足りない！物足りないと感じる。公園やお店がもっとあれば良いのでは？観光客にも地元民にも安全で楽しめる憩いの場所が増えることを期待します。



たか た けんじ 高田 賢志（横瀬）50代

横瀬橋の袂で洋菓子屋を始めて28年目に入りました。みかんや栗、やまもも等、勝浦町産の素材を生かしたお菓子づくりにこだわっています。ホッと一息つける地域の憩いの場になれば良いなと思います。

かわの としひこ 河野 稔彦（中角）60代

100号発刊おめでとうございます。住民目線の親しみやすさがいいですね。みかんの黄金期から半世紀が過ぎ、第2の人生をみかん農業の復活、継続、さらなる発展に向け尽力していきたい。勝浦町の未来を農業とともに応援しよう。



にい 新居 はるな（坂本）40代

勝浦での生活も3年目になり、地域の方々の温かさには感謝の気持ちばかりです。まだまだ慣れない事も多いですが、祭りごとやイベントを通して活気のあるまちづくりのお手伝いできればと思います。



まつもと たえこ 松本 妙子（中山）30代

主人を説得しのびのびと子育てがしたいと思い、16年前に勝浦に帰ってきました。こどもが小さい頃は子育てがしやすいと感じていましたが、こどもが成長し、自分が働きに出るようになり、交通の便が悪いと切に感じています。



こさか こういち 小坂 浩一（徳島市・横瀬出身）50代

役場前にて父と合同で土地家屋調査士、司法書士、行政書士の事務所を経営しております。登記手続きや行政機関への申請手続きにおいて、町民の方々の一助を担えるよう、これからも勝浦町で頑張っていきたいと思います。



ひろまつ きとし 廣松 聡志（棚野）30代

勝浦町の少年サッカークラブの指導にあたり、1人でも多くの子どもたちがサッカーを楽しみ、好きになってもらえるように頑張っています。子どもたちが、スポーツを思いっきり楽しめるような環境づくりをしていただけたら幸いです。



うえおか あやな 上岡 彩音（星谷）10代

生比奈クラブでバレーをしています。長身を生かしてブロックをドンドン取って中学校でもレギュラーになれるようにがんばりたいです。



わたなべ ゆうすけ 渡邊 祐介（棚野）40代

地域おこし協力隊としてやってきて勝浦生活9年目。私にとってとても居心地が良い場所で、行動力にあふれる住民には驚かされます。地域のために働くことができ、自身も成長できる理想的な町だと感じています。これからもよろしくお願いします。



もりうち せいご 森内 誠悟（星谷）40代

徳島駅伝に中学2年生から19歳まで出場し、その後は付添、配車係などで携わり、昨年30年ぶりに選手として復帰しました。若い力も育っており楽しく練習しています。今年は、親子3人で出場できるように頑張っています。



新年に向けてのご挨拶

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。令和7年、巳年の年明けにあたり、みなさまにとってこの一年が希望と充実に満ちた年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

巳年は「知恵」と「再生」を象徴する年といわれています。この象徴にふさわしく、本年は新たな知恵を持つて議会改革に取り組み、地域の未来を切り拓く一年にしたいと考えています。議会改革は、議会が住民のみなさまにとってより身近で、信頼される存在となるために必要不可欠な課題です。情報公開や住民参加の促進、議会運営の効率化など、時代に即した議会の姿を追求し、地域の発展とみなさまの暮らしの向上に寄与してまいります。

本年も、みなさまのご意見を大切にしながら、全力で取り組んでまいります。どうぞ変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、みなさまのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

勝浦町議会議長 松田 貴志



せ と あつし
瀬戸 敦（岡山県・石原出身）20 代

仕事の都合で現在は岡山県民です。月に1回は勝浦に帰省しています。都会もいいけどやはり地元が落ち着きます。同級生と会えるのも楽しいし、早くUターンできるように、今は仕事を頑張ります。その頃にはもっと住みよい町になってると願います。

にしたに よしみつ
西谷 良益（生名）70 代

東京で暮らしている孫が来るたびに、みかんを取り、柿の木に登り、谷川で魚をつかまえて遊ぶ。帰る日が近づいてくると「帰りたいくない！ずっとここにいたい！」と言う。居心地の良い勝浦町を孫に気づかされたような気がする。

よしの あけみ
吉野 明美（中山）60 代

柑橘の酢を販売している阿波酢造です。中学生とふると学習で商品開発をした時に、郷土を知る授業をもっと増やしてほしいと思いました。地元愛を育て、成長しても勝浦とのつながりを保ち、活性化につなげてほしいです。

やまにし こうしろう
山西 康志郎（横瀬）10 代

勝浦中学校の野球部員です。野球ができる場所が少なくとても寂しく思います。そこで球場を作ってほしいです。そうすればもっと町も明るくなり中学生、小学生も遊ぶ場所が増え町の活性化につながると思います。



の が み み え こ
野神 美枝子（石原）60 代

勝浦に嫁いで43年。東四国国体でバレーを始め体協、Kフレンズ、選管など町内の活動を通じて多くの友人ができました。とても楽しい人生です。毎日感謝の気持ちを持ち、これからのできる範囲で沢山の活動ができたらと思います。



しま ひろあき
島 裕臣（棚野）50 代

勝浦町のみなさんが作る大応援団は、最高で最強です！勝浦中軟式野球部・女子バレー部が県総体で優勝した会場での大応援が最高で最強でした。いつも大応援をいただける勝浦町は、最高で最強です。

あさいし たくと
浅石 拓人（今山）30 代

小松島から移住して3年。勝浦は穏やかで静かない所です。子どもが小学校に入学する頃には、給食費を完全に無料にしてほしいです。



くわむら く み こ
桑村 久美子（星谷）60 代

勝浦へ嫁いで45年、夫と二人暮らしです。近所に若者、子どもは見かけません。雇用場所と商業施設ができることと、災害が起きる前に町民の要望を聞いてほしい。若者が定住できる、勝浦の未来に大きな希望が持てるように期待したいです。

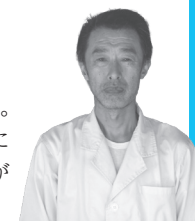


いのう え あ ゆ み
井上 亜由美（横瀬）40 代

「さるびあ」で働いていると、人と人とのつながりに助けられているなど実感します。子ども達も素直で優しいのは人の温かさに触れているからだと思います。私と関わり仲良くして下さっているみなさん、いつもありがとうございます♡

あお き よし き
青木 良樹（中角）50 代

勝浦町は、生まれ育った自然豊かな故郷というだけでなく、かわいい子ども達に囲まれた生比奈小学校への徒歩通勤。大空を飛翔できる勝浦フライトパーク。仕事に趣味に恵まれた環境で生活できる幸せに感謝している。



徹底調査 100人に聞きました！
わたしと勝浦町



の が み し ほ
野神 志帆（徳島市・石原出身）40 代

自然豊かで徳島市内や阿南市からも車で数十分という利便性のある土地なので、特産品のブランド化や、自然を利用した施設、イベントなど、集客につながる事業に注力していただきたいです。



と か わ しげいち
戸川 茂一（生名）70 代

地域のコミュニティを継続していくには、各地区の人々が支えてきた文化に現在の多様な文化（性）を合わせて行くことが必要。例えばみんなの運動会を頂点にして裾野を広げ、地域コミュニケーションの強化を図るのはどうか。



なかむら けんや
中村 顕也（沼江）60 代

就農8年目。ミカン、スダチ、カキ等を栽培しています。新しい農業技術が登場しても、自然環境の中での栽培は、なかなか難しいものだと感じます。特に鳥獣対策は町の支援が不可欠です。さらなる取り組みをお願いします。

町民の声

日ごろ、みなさまからいただいている声を、議員が町民代表として執行部へ投げかけました。

南海トラフ臨時情報の対応はどうだったのかな

8月8日午後7時15分南海トラフ「地震臨時情報大地震注意」が政府より発令された。本町の対応は。

勝浦町地域防災計画に基づき災害対策連絡本部を設置した。南海トラフ地震臨時情報発表に伴う特別な注意の呼びかけが終了するまで、24時間体制で住民からの問い合わせの対応にあたった。

町内各組織への呼びかけ、周知はどうであったのか。

ライフライン、生活関連、交通に関する情報などの問い合わせを含め、被害等がなかった。ホームページ、防災行政無線により普段通りの生活を継続しながら地震への備えを周知した。

地震に対する意識を高めるための大きなチャンスであった。本町での南海トラフ地震の被害想定は全壊、焼失420棟、半壊760棟、死者が20、30人、避難生活者720人。消防団や区長会、自主防災組織、学校関係者や観光地への呼びかけなど、配慮が必要ではなかったのか。

各団体への周知については注意喚起する絶好の機会であったと思っている。より危険が高まるので今後は各組織への周知はもっとしていきたい。

星谷橋架け替え特別委員会 星谷橋の安全な掛け替えのために

星谷橋は平成22年2月「計画的な架け替えを検討する橋梁」として位置づけられました。令和6年度から本格的に架け替えに向けて取り組んでいます。

10月21日、星谷橋架け替え特別委員会を設置（委員長 瀬戸直一）。議員全員で事前に現場視察を行い、老朽化で危険な実態を確認しました。

12月10日の開催時には、設計業者からの説明を受け、各議員が熱心に質問しました。完成に向けてしっかりと取り組んでいきます。

現場視察

下部工の鉄筋露出

修復不能

編集後記

記念すべき100号は、いつもよりもボリュームがあり編集は大変でしたが、無事終了することができました。多くの方に登場していただき、賑やかな誌面となりました。

令和7年を迎え、議員となり1年半が過ぎました。気づいたさまざまな課題があり、議会が率先して解決案を提案していくのはもちろんですが、住民も関心を持って一緒に考えてもらえるような記事を掲載できるように、意識して編集してまいります。

内容 安宏

みやもと みつこ 宮本 光子（沼江）50代

道の駅オープンとともに「みやこ家」を開業。「打ちたて、茹でたて、揚げたて」にこだわり、エビやイカが入った「かき揚げうどん」がイチ押し。勝浦にちなんだ「恐竜うどん」を提供する事で地域貢献を果たしていきたいです。

くわむら あけみ 桑村 明美（羽ノ浦町）40代

よってネ市店長の私にとって勝浦町は優しい町です。水も空気も美味しく、そこで作られる米や野菜、果物はもちろん美味しい。また、子ども達は素直で笑顔で挨拶をしてくれます。

よしおか えつこ 吉岡 悦子（掛谷）70代

清流勝浦川がささやき、山々はみかんの花で彩られ、心温かきふる里の香りが漂う町。この町に暮らして47年。人口減少高齢化が進んでも、穏やかで豊かな絆が息づく勝浦町であってほしいと願っています。

みさき ひろし 三崎 普史（中角）30代

後継者として、父親とみかん作りを始めて4年目。これからは勝浦町の農業をしっかりと盛り上げていきたいです。

にき ひろこ 仁木 博子（沼江）40代

会社員です。写真を撮るのが好きです。自然豊かで四季を楽しめ、みかんが美味しく、近所や町内のかたが気さくで優しい、勝浦町が大好きです。

あきざき ゆうは 明崎 優羽（今山）10代

中学校でバスケットをしています。お祭りの大太鼓を叩くのが大好きです。賑やかなお祭りがこれからも続いてほしいです。

さきやま よしひろ 笹山 芳宏（横瀬）60代

勝浦町シルバー人材センターで高齢者に仕事斡旋中です。60歳から加入できます。会員と簡単に臨時の仕事で大募集しています。両方共減少局面です。どうかみなさまのご協力をよろしくお願いします。

徹底調査 100人に
聞きました!

わたし
と
勝浦町

KATSUURA

地域のホシ ガンバル人

GAMB★ROUS

かつらガンバロウス

地域でガンバル人（地域のホシ）は、活動こそおのの各々ですが、「地域を盛り上げる」というアツい想いは共通。そんな共通の想いを持つ人はみんな「かつらガンバロウス」の一員です。

★ガンバリポイント

本格的に投手を始めたのが遅かったため、投球フォームや変化球を覚えるところから始めた。先輩やSNSで研究を重ねて自分に合う投球を身に付け磨き上げてきました。プロの世界でも向上心を持ち、更なるレベルアップをしたいと思います。



勝浦タイガース時代



おかもと しゅん
岡本 駿

2002年生 勝浦町出身
徳島県立城南高校を卒業後、甲南大学に進学。大学で本格的に投手を始め、広島東洋カープにドラフト3位で指名。プロでの目標は一軍マウンドに立ち、チームを代表する投手になること。

仲間のエール 応援する人の声

駿、広島東洋カープからのドラフト3位指名おめでとう。小さい頃から人からのアドバイスを素直に聞き、吸収し、練習してきた結果が実りましたね。ここからはさらに厳しい世界だと思いますが、駿ならやってくると信じています。怪我に気をつけて頑張ってください。

★これからガンバルこと

筋力アップや球速アップのトレーニングを積み、一軍のマウンドで投げられる選手になりたい。また、期待してくださる方々にテレビで投げる姿を見せられるように、一生懸命プレーして恩返ししたいと思います。



表紙写真募集!

議会広報委員会では、みなさまからの表紙写真を募集しております。テーマは「町民の笑顔」! 詳細は下記 URL または QR コードをチェック!

<https://formok.com/f/1chm9gnl/>



今回の表紙は、広島カープドラフト3位指名 赤ヘル期待の岡本君! 勝浦からMAZDA Zoom-Zoom スタジアム 広島へ応援に行きたいです。勝浦町初のプロ野球選手、今後の活躍に期待しています。がんばれ53番! 表紙・裏表紙のダブル表紙も議会だより初です。

表紙探訪

今号の表紙はこんな人

